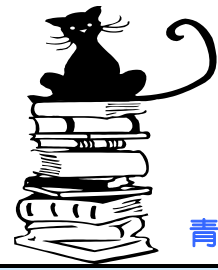


9月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
新 謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉	ど天然な新米刑事が加わり、新章始動！宝生麗子の後輩にど天然な新米刑事・若宮愛里が加わり、警視庁に栄転した風祭警部は大きなミスを犯して国立署に舞い戻り、新たなメンバーで難事件に挑む。
いつか月夜	寺地 はるな	会社員の實成は、父を亡くした後、得体のしれない不安（「モヤヤン」と呼んでいる）にとり憑かれるようになった。そいつを遠ざけるため、ひたすら夜道を歩く。何故か増えてくる「深夜の散歩」メンバー。皆、日常に問題を抱えながら、譲れないもののため、歩き続ける。
十字路の探偵	吉田 篤弘	前代未聞の探偵小説。誰かが命を落とす前にその事件の謎を解く…名探偵・除夜一郎の事件簿！今までにはなかった探偵小説。これこそ唯一無二の吉田篤弘ワールドです。
常夏荘物語	伊吹 有喜	10歳の時に常夏荘に引き取られた耀子。時を経て38歳になった耀子は、ある日、夫の龍治から突然離婚を切り出される。その思いもよらない理由に耀子は驚くが、それを機に自分にとって本当に大事な人が誰だったのか、思いを巡らし始めるー。
全員犯人、だけど被害者、しかも探偵	下村 敦史	社長が殺された。「関わる」7人がある廃墟に集められる。未亡人、記者、社員2人、運転手、清掃員、被害者遺族ー。密室に音声が流れる。「社長を殺した犯人だけ生きて帰してやる」。犯人以外は全員毒ガスで殺す、と脅され、7人は命をかけた自供合戦を繰り広げるがー。
私の実家が売れません！	高殿 円	郊外築75年、大量のガラクタ、恐怖の再建築不可物件……。残された実家は超問題だらけ！！笑い涙、前代未聞の実家じまい本！維持費に相続手続き、片付けに親族問題、税金対策に売却まで、新感覚の人情派「実家じまい」エッセイ
プラチナハーケン1980	海堂 尊	東城大学医学部総合外科の佐伯教授は、若きヒラ医局員・渡海征司郎を大抜擢。彼は次々に高度な手術を成功させる。オランダの国際学会に教授の名代として送り出された渡海は、新たな因縁と巡り会う。帰国後、ある患者のカルテに不審を抱いた彼は、佐伯外科の深い闇へ足を踏み入れていく……。

鷹の飛翔	堂場 瞬一	<p>「俺は少し休む。少しだけ。でもそれは、また飛ぶための休みだ」 「俺たちを超えて飛べ。鷹の休息が終わったその日に」 平成を駆け抜け、警察官人生の晩年を迎えた二人の刑事が挑む、最後の事件。</p>
いえができるよ	バイロン・バートン	<p>一軒の家がたつ様子を、分かりやすくシンプルに描いています。測量、基礎工事、床張り、柱と壁を立ちあげて、屋根をつくり、内装工事まで、いえができる工程が小さい子でもわかる絵と少ないことばで。配管や電気工事のページはおとながみてもワクワクします。</p>

【お知らせ】

月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」 ■「ESSE」

